



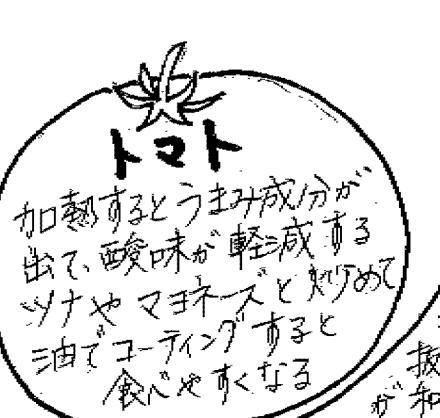
6月

青い鳥保育園

過ごしやすい春が終わり、蒸し暑い梅雨が近づいてきました。雨が多く、お散歩に行けない日々が続き、遊び足りない子供達だと思いますが、梅雨はとても重要な時期です。これから始まる暑い夏の水分不足を解消したり、夏野菜の成長を促進してくれます。

夏野菜は、水分やカリウムを豊富に含み、夏に不足しがちな栄養がたくさん入っています。旬の野菜を食べて、暑い日々を乗り越えましょう。

子供が苦手な野菜をおいしくする工夫



トマト

加熱するとうまみ成分が出て、酸味が軽減するので、マヨネーズと一緒に油で炒めると、食べやすくなる



なす

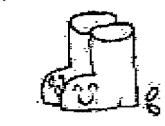
切って10分程水に浸し、アフタスを抜きすると、皮が和らぐ



ピーマン

熱い油にさっと通す(油通)をすると苦みがまとわり感じなくなる。後に切ると苦みが抑えられる

- ・その他に…
- ・家庭菜園をして一緒に育てみる
- ・一緒に買い物をして野菜を選ばせる
- ・料理のお手伝いをさせる
- ・切り方や盛り付け方を工夫する



新型コロナ対策だけでは食中毒は予防できません

新型コロナウイルス感染症対策は、ほかの感染症予防にもなります。マスク着用や手洗いの習慣によって、子供の三大夏風邪と言われる、猩紅熱・ヘルパンギー・アル熱は、コロナ感染拡大以降減少し、今にはインフルエンザも激減しました。

また、2021年の食中毒発生件数は、過去20年で最少になりました。これも「コロナ対策による衛生意識の向上」が反映されています。しかしながら、コロナ対策だけでは、食中毒は予防できません。今一度、これから増えてくる食中毒対策の徹底を見直しましょう。

